

遊んで学んで

夏休みを満喫



放置竹林の問題などを実際に見て学ぶ子どもたち(南丹市八木町)

竹林散策 間伐竹活用考える

■ 南丹

放置竹林が問題となる中、間伐竹の活用を学ぶワークショップが28日、南丹市八木町の旧吉富小で開かれた。親子らが竹林を散策したり、竹細工を作ったりする体験をした。

参加者は竹細工職人の松本裕和さん(41)らの案内で近くの竹林を歩き、「竹林は手入れを怠るとすぐに荒廃する」「竹は古来から生活用具に活用されてきた」などと説明を受けた。同小ではナイフを使って実際に間伐竹を削り、はしを作り上げた。

ワークショップは8月5日まで連日開く。無料。問い合わせは小関さん080(8731)9686。(本好治央)

